

折れた歯が教えてくれたこと

三見中学校 二年 堀 晃輔

僕は、小さい頃に家で遊んでいて、前歯が折れたことがあります。僕はとても泣きました。しかし、歯医者さんに診てもらい、歯に補強をしていただけいたおかげで以前のように、しかりとがめるようになりました。

だから、僕の歯に関する思い出は、決していいものではありません。けれど、再びがめるようになつた時は、とてもうれしかったです。

物をがめることはあたり前のことかもしれないけれど、その時ばかりは、歯があつて、物をがめることが、本当に素晴らしいことなのだと感じました。

そして今、その歯はもう抜けました。悪い思い出が詰まっていたはずのその歯が抜けた時は、なぜかさみしい気持ちになりました。僕にと、歯を丈夫にしようと思うきっかけを作ってくれた歯だ、たからです。

僕の家族は皆、むし歯がほとんどなかつた

ので、僕はあまり気をつけて歯を磨いてい
ませんでしたが。しかし、あの歯の出来事以来、
母に言われて毎年、歯医者さんに行くようにな
りました。

小学校六年生の頃、友達がむし歯になりま
した。僕は、自分もむし歯になるのかと不安
になり、真剣に歯を磨こうという気持ちにな
りました。そして、僕はこの13年間、むし歯
になることはなく、あたり前の生活をとっても
楽しく過ごしています。歯は物をがむこと以
外にもふんばることができるので、部活など
でも重要な役割を果たしています。先日、
体カテストの握力測定で、口をあけてやるの
と歯をくいしばってやるのとでは、くいしば
ってやる方が良い記録が出ました。
このように歯はとても大切だから、これが
らも食べた後には歯をしかり磨き、ハ〇ニ
〇をめざしていきたいと思います。